

◆市長選について

問 市長選の低投票率と妨害行為をどの様に受け止めたか。

答 過去最低の55.8%で新興住宅や若年層の低下等、様々な要因である。又心ない誹謗中傷などの風評で、心を痛めている。

◆職員体制について

問 団塊世代で退職職員の対応は市民サービスの低下にならないか。

答 事務の複雑化、専門的な仕事で中堅職員の補充は、市民サービスの低下にならない様に技術ノウハウを生かし再任用も考える。

◆職員規律について

問 飲酒運転に対する処分の見直しは出来ているか。

答 飲酒運転撲滅に向けて、処分基準の見直しを図る。

◆教育現場の対応は

問 軽度発達障害児の早期発見と教育現場での対応はどの様になっているか。

答 児童生徒の6%程度が在席していると云われ家庭、幼保学校、医療機関と連携し0才から18才までを対象とし、元気っ子応援事業をスタートし保育園では元気っ子相談、学校には3校に特別講師を配置し特別支援教育を推進する。

◆来年度予算は

問 19年度予算を-5%シリングとした理由は何か。

答 経常収支比率が1.5ポイント上り義務的経費が増加気味である。

◆各種イベントについて

問 観光イベントがマンネリ化し人気落ちだが引き続き継続していくには何が必要か。

答 来年度節目のイベントもあり、各実行委員会と協議を重ね、引き続き開催をする。

◆ブランド化について

問 塩尻ブランドはどう捉えるか。

答 ブランドは地域の商品で、他地区にない物を差別的優位性が必要である。

◆体育館の改修は

問 市立体育館の耐震工事をすべきであるか。



新たな観光イベントも人気を集めており、今後に期待

答 市の中心地にある大切な施設であり、改修後は市民が有効に活用してもらおう。

市政敬和会

質問者 樋口 光久
白木俊嗣・井野兼一

質問時間50分

大戦の歴史的評価は

◆大戦をどう考えるか

問 今年の12月8日は、あの真珠湾開戦より65年目にあたる。大東亜戦争（太平洋戦争）をどう評価し、どう考えるか。

答 歴史の評価は国が違い、人が違い、時代が違えば変わるの当然である。全ての人が戦争のない平和な生活を望んでいる。大戦について軽率に意見を述べる程単純なものでもなく自信家でもなく無礼者でもない。

◆多選制限についての考えは

問 首長の多選制限をしようとする動きがあるがどう思うか。

答 私は関心がないので答弁出来ない。

◆設計構造の変更は

問 (仮)市民交流センターの設計構造其ものの変更は可能か。

答 基本的には無理である。

◆共有建物の問題点は

問 建物所有を民間と市とが共有するのは建替え時に問題ではないか。

答 検討してみたい。

◆改正法についての考えは

問 教育基本法の改正をどう考えるか。

答 新しい時代の教育理念として、教育の根本にさかのぼっての改革と考える。法案の前文では、「公共の精神の尊び」や「伝統を継承」など新たに盛り込まれ、「家庭教育」「幼児期の教育」等も条文化される。

◆市職員の現状は

問 最近市の職員のなかに心の病(うつ病)等の人が増えていると聞くが現状と対策は。

答 近年、本市に限らず、心の病による療養休暇を取る職員が増えている。10年前には年間1人位が、一昨年は2人、現時点で6人いる。こうした職員の精神面のケアのため、メンタルヘルスの相談日を月



給食業務の民間委託は慎重な検討を

◆民間委託は

問 給食業務の民営化は150食以上と考える。それ以下は現業職員で対応すべしと思う。

答 経費等を考えた上で、100食以上は民間委託としたい。

◆南部消防署新設は

問 南部消防署の新設については平成15年11月の広域連合議会での私の質問に当時の有賀広域連合長は土地と建物を当該市の負担で取得してくれらるならいつ何時でも人員と機械は配置するとの回答。あれから3年経過している。怠慢であり、市民の安心、安全をどう思うか。

答 引き続き働きかける。